

これまでの職業経歴について

問3 初めて介護の仕事に応募した当時、あなたは何をしていましたか。該当する番号 1 つに○をつけてください。 N=415

1. 正社員として働いていた 9.2%	4. 専業主婦だった 46.3%
2. パートなど非正社員として働いていた 32.8%	5. 学生で、働いていなかった 1.2%
3. 家業に従事していた 7.0%	無回答 3.6%

問4 介護の仕事の経験についておうかがいします。枠内に数字を記入してください。

a) 今の勤務先での経験年数 N=396 (平均値) 37.60 カ月 (標準偏差 : 35.10)

b) 以前の勤務先を含めたこれまでの通算経験年数 N=378
(今の勤務先の前に介護の仕事経験がない場合は、a) と同じ年数を記入してください)

(平均値) 48.07 カ月 (標準偏差 : 44.99)

c) これまで介護した利用者の延べ人数 N=389

(時間や回数の多少にかかわらず、介護を担当したことがある利用者の通算人数を回答してください。以前の勤務先も含めてください)

(平均値) 32.77 人 (標準偏差 : 95.92)

問5 あなたはこれまで (以前の勤務先も含めて) 在宅・施設のどちらで仕事をしてきましたか。該当する番号 1 つに○をつけてください。 N=415

1. 在宅のみ 74.9%	4. 在宅もあるが施設が主 5.1%
2. 施設もあるが、在宅が主 11.8%	5. 施設のみ 1.7%
3. 在宅と施設を同程度 2.9%	無回答 3.6%

問6 あなたがこれまで (以前の勤務先も含めて) 経験してきた介護の仕事は、どのようなものが多いですか。該当する番号 1 つに○をつけてください。 N=415

1. 身体介護のみを経験してきた 2.2%	
2. 家事援助もあるが、身体介護を主に経験してきた 13.7%	
3. 身体介護と家事援助を同程度に経験してきた 35.7%	
4. 身体介護もあるが、家事援助を主に経験してきた 41.0%	
5. 家事援助のみを経験してきた 4.1%	無回答 3.4%

現在の所属先や勤務状況について

問7 あなたが現在所属（登録）している事業者を選んだ理由を選択肢から選び、枠内に記入してください。

a) あてはまるものすべて

N=415

<選択肢>

1. 介護に対する考え方に共感したから 54.5%	10. 職場の人間関係が良さそうだから 33.7%
2. 勤務地が近いから 42.9%	11. 組織風土が自分にあいそうだから 23.9%
3. 自分の都合にあわせて勤務時間が決められるから 65.1%	12. その事業者の社会的地位が高いから 23.4%
4. 勤務時間が短いから 13.3%	13. 社会や地域に貢献しているから 26.5%
5. 休みが多いから 1.7%	14. その事業者の人が熱心に入社をすすめてくれたから 7.2%
6. 給与・賞与などの待遇がよいから 3.4%	15. 現在の事業者しか就職できなかったから 1.9%
7. 成果・能力で給与や昇進が決まるから 1.2%	16. その他 13.5%
8. 研修が充実しているから 39.3%	(具体的に:)
9. 家族や知人がすすめてくれたから 14.5%	17. 特別な理由はない 1.0% 無回答 1.7%

b) 最もあてはまるもの1つ

N=415

<選択肢>

1. 介護に対する考え方に共感したから 21.4%	10. 職場の人間関係が良さそうだから 3.4%
2. 勤務地が近いから 8.4%	11. 組織風土が自分にあいそうだから 5.1%
3. 自分の都合にあわせて勤務時間が決められるから 18.1%	12. その事業者の社会的地位が高いから 4.3%
4. 勤務時間が短いから 0.5%	13. 社会や地域に貢献しているから 6.7%
5. 休みが多いから 0.1%	14. その事業者の人が熱心に入社をすすめてくれたから 2.4%
6. 給与・賞与などの待遇がよいから 1.0%	15. 現在の事業者しか就職できなかったから 1.4%
7. 成果・能力で給与や昇進が決まるから 0.2%	16. その他 7.5%
8. 研修が充実しているから 6.5%	(具体的に:)
9. 家族や知人がすすめてくれたから 2.9%	17. 特別な理由はない 0.5% 無回答 9.6%

問8 あなたの雇用形態についておうかがいします。

a) 正社員ですか (○は1つ)。N=415

1. 正社員である	4.6%	→問9に進んでください
2. 正社員ではない	90.6%	無回答 4.8%

「2. 正社員ではない」と回答した方のみにおうかがいします。

▶b) あなたが働いている週当たりの労働時間は、正社員と同じですか (○は1つ)。N=376

1. 正社員と全く同じ	1.3%	3. 正社員より短い	75.8%
2. 正社員とほぼ同じ	5.6%	無回答	17.3%

▶c) 勤務先に希望を登録しておき、仕事があるときに出勤する登録型の介護職ですか (○は1つ)。N=376

1. 登録型の介護職である	87.5%	3. わからない	4.8%
2. 登録型の介護職ではない	6.9%	無回答	0.8%

問9 あなたの過去1カ月間の勤務状況についておうかがいします。

a) 過去1カ月間の勤務日数 N=397 (平均値) 14.60 日 (標準偏差: 6.59)

b) 過去1カ月間に介護した利用者の延べ人数 N=393
(平均値) 9.41 人 (標準偏差: 16.00)

c) 過去1カ月間に担当した介護の仕事内容 (○は1つ) N=415

1. 身体介護のみ	1.7%	4. 家事援助が主	28.9%
2. 身体介護が主	9.6%	5. 家事援助のみ	6.0%
3. 身体介護と家事援助が同程度	48.0%	無回答	5.8%

d) 1件あたりの平均訪問(滞在)時間 N=398

(平均値) 162.28 分 (標準偏差: 109.79)

問 10 あなたは普通 1週間に、つぎの仕事にどの程度の時間を使っていますか。賃金の支払いの有無に関係なく、仕事をおこなっている時間を枠内に記入してください（休憩時間は除く）。

a) 訪問先での介護(身体介護・家事援助とも)時間の 1週間の合計 N=395

(平均値) 752.11 分 (標準偏差: 567.84)

b) a) に伴う報告書作成・打ち合わせ・移動時間の 1週間の合計 N=374

(平均値) 290.23 分 (標準偏差: 321.00)

問 11 あなたが介護の仕事をしている時間帯を選択肢から選び、枠内に記入してください。

a) 仕事をするところがある時間帯すべて N=415

<選択肢>

1. 早朝(午前5時から8時までの間) 4.3%	5. 夜(午後8時から10時までの間) 6.0%
2. 午前中(午前8時から正午までの間) 86.0%	6. 深夜(午後10時から午前5時までの間) 2.4%
3. 午後(正午から午後5時までの間) 84.8%	7. 特に決まっていない 3.9%
4. 夕方(午後5時から8時までの間) 32.5%	無回答 4.1%

b) 仕事をするところが最も多い時間帯 1つ N=415

<選択肢>

1. 早朝(午前5時から8時までの間) 0.0%	5. 夜(午後8時から10時までの間) 0.2%
2. 午前中(午前8時から正午までの間) 43.9%	6. 深夜(午後10時から午前5時までの間) 1.2%
3. 午後(正午から午後5時までの間) 41.0%	7. 特に決まっていない 2.9%
4. 夕方(午後5時から8時までの間) 3.6%	無回答 7.2%

問 12 あなたの給料は、どのように支払われていますか。該当する番号 1つに○をつけ、その金額を記入してください。 N=415

1. 時間給(88.7%)			
⇒ ア)身体介護 1時間あたり (平均値)	1,254.00	円 (標準偏差: 180.89)	N=251
イ)家事援助 1時間あたり (平均値)	961.17	円 (標準偏差: 110.70)	N=300
ウ)複 合 1時間あたり (平均値)	1,099.27	円 (標準偏差: 109.03)	N=266
エ)区分なし 1時間あたり (平均値)	957.69	円 (標準偏差: 505.56)	N=70
2. 月給(5.1%) ⇒ 1カ月あたり (平均値)	153,688.46	円 (標準偏差: 82,882.20)	N=26
	(諸手当・交通費除く)		
3. その他(1.4%) ⇒例えば「日給で1日 8,000 円」などと具体的に記入してください			
無回答(4.8%) ()			

問 13 あなたの先月の税込み月収（交通費除く）はいくらでしたか。枠内に金額を記入してください。なお、残業手当のある方は、その収入を入れてお答えください。 N=388

(平均値) 60,027.71 円 (標準偏差 : 52,783.56)

問 14 あなたは現在、年収が一定額を超えないように労働時間などを調整して働いていますか。該当する番号 1 つに○をつけてください。 N=415

1. 調整している 29.2%	3. わからない 4.8%
2. 調整していない 63.4%	無回答 2.7%

働き方や仕事に関する希望について

問 15 あなたは、働く日数や時間について希望がありますか。該当する番号 1 つに○をつけてください。 N=415

1.今のままでよい 61.2%	3.減らしたい 5.5%
2.増やしたい 25.5%	4.日数や時間に関する希望はない 5.3%
	無回答 2.4%

問 16 今後、あなたはどのような介護の仕事を経験していきたいと考えていますか。該当する番号 1 つに○をつけてください。 N=415

1. 身体介護のみを経験していきたい 1.4%	
2. 身体介護を主に経験していきたい 23.4%	
3. 身体介護と家事援助を同程度に経験していきたい 57.8%	
4. 家事援助を主に経験していきたい 8.9%	
5. 家事援助のみを経験していきたい 1.7%	
6. わからない 3.6%	無回答 3.6%

介護の仕事をする上で必要な知識や技術、能力開発について

問 17 あなたが現在お持ちの資格のすべてに○をつけてください。 N=415

1. ホームヘルパー1級 7.0%	9. 保育師(保父、保母) 5.3%
2. ホームヘルパー2級 85.5%	10. 理学療養士・作業療養士
3. ホームヘルパー3級 8.9%	11. 管理栄養士・栄養士 5.1%
4. 介護福祉士 6.7%	12. 調理師 3.9%
5. ケアマネジャー 1.9%	13. 教員 14.2%
6. 社会福祉士 0.2%	14. その他の医療・介護・福祉関連の公的資格 8.4%
7. 看護師・准看護師 4.3%	(具体的に:)
8. 保健師 0.2%	無回答 2.9%

問 18 問 17 にあげた資格の中で、今後あなたが取得したいと考えているものはありますか。該当する番号 1つ に○をつけ、取得したい資格がある方は、その資格についてもお答えください。

N=415

1. 取得したい資格はない	31.3%	無回答
2. 取得したい資格がある	63.4%	⇒取得したい資格を問 17 の資格番号で(2つまで)N=415

1. ホームヘルパー1級	20.5%	9. 保育師(保父、保母)	3.4%
2. ホームヘルパー2級	3.1%	10. 理学療養士・作業療養士	5.4%
3. ホームヘルパー3級	0.8%	11. 管理栄養士・栄養士	4.2%
4. 介護福祉士	55.9%	12. 調理師	5.7%
5. ケアマネジャー	44.3%	13. 教員	0.4%
6. 社会福祉士	8.4%	14. その他の医療・介護・福祉関連の公的資格	6.1%
7. 看護師・准看護師	1.9%	(具体的に:)	
8. 保健師	0.8%	無回答	0.0%

問 19 研修などの教育訓練についておうかがいします。以前の勤務先も含めてお答えください。
 (A 欄) 下表の a.b.c. にあげるような教育訓練を受けましたか (○は 1つ)。
 (B 欄) 受けた場合、それは役立っていますか (○は 1つ)。

教育訓練の例	A 欄		A 欄無回答	B 欄				B 欄無回答
	受けていない(1)	受けた(2)		役立っている(4)	まあ役立っている(3)	あまり役立っていない(2)	役立っていない(1)	
a. 初期研修(採用時の基礎的な訓練) A 欄:N=415、B 欄:N=333	14.2%	80.2%	5.5%	57.4%	36.0%	5.1%	0.6%	0.9%
b. 実務の中での上司・同僚からの指導 A 欄:N=415、B 欄:N=348	9.2%	83.9%	7.0%	64.7%	30.5%	3.2%	0.3%	1.4%
c. 日常の仕事を離れた研修や講習会 A 欄:N=415、B 欄:N=351	11.1%	84.6%	4.3%	56.7%	36.2%	6.0%	0.3%	0.9%

問 20 介護の仕事をする上で必要な知識や技術についておうかがいします。

(A 欄) あなたは、下表にあげる知識や技術を習得するためには、実務経験だけでなく、研修や講習会が不可欠だと思いますか。1～12 のうち研修や講習会が不可欠とお考えのものすべてに○をつけてください。 N=415

(B 欄) 下表にあげる知識や技術のなかで、あなたが身につけたいと思うものはありますか。1～12 のうち該当する番号に 3 つまで ○をつけてください。特に身につけたい知識や技術がない場合は、選択肢 13 に○をつけてください。 N=415

	A 欄	B 欄
	不可 研 修 や 講 習 会 が 習 得 の た め に 、	知 識 や 技 術 に 身 に つ け た い
< 選択肢 >	すべて	3 つまで
より高度な介護技術	72.5%	56.9%
高齢者・障害者の心理や生理に関する知識	79.8%	32.5%
高齢者・障害者との接し方に関する知識・技術	74.9%	33.0%
高齢者・障害者の家族との接し方に関する知識・技術	61.2%	13.5%
痴呆症状のある利用者への対応に関する知識・技術	82.4%	48.4%
福祉用具に関する知識	71.3%	12.8%
医療・保健の知識	68.7%	30.6%
介護保険とその動向に関する知識	64.3%	21.0%
勤務する地域の福祉資源に関する知識	51.3%	11.6%
円滑なチームワークのために必要な知識・技術	48.7%	8.0%
リーダーに求められる知識・技術	31.8%	3.6%
その他（具体的に：)	3.9%	2.2%
特に身につけたい知識や技術はない		1.7%
無回答	7.5%	2.7%

問 21 あなたは、おもに能力開発に関連して、現在所属（登録）している事業者に対して、つぎのような希望を持っていますか。該当する番号すべてに○をつけてください。 N=415

1. 介護の能力を適切に評価する仕組みを作ること(能力の違いを賃金に反映させる等)	28.2%
2. 介護の能力に見合った仕事に配置すること	30.6%
3. 働き方や仕事内容について上司と相談する機会を設けること(増やすこと)	39.8%
4. 実務の中で、ベテランから指導を受ける機会を設けること(増やすこと)	48.0%
5. 有料の研修や講習会を開くこと(増やすこと)	10.4%
6. 無料の研修や講習会を開くこと(増やすこと)	51.8%
7. 施設での介護を経験する機会を設けること	20.5%
8. 在宅での介護を経験する機会を設けること	18.1%
9. 1.～8.のような希望は持っていない	7.0%
	無回答 5.8%

問 22 あなたの介護の仕事についての能力を高めた経験について、自由に記入してください。

働くことや介護の仕事について

問 23 あなたが働いている理由は何ですか。最もあてはまるもの 1つに○をつけてください。 N=415

1. 生活を維持するため	9.2%	5. 生きがい・社会参加のため	42.9%
2. 家計の足しにするため	14.2%	6. 余暇時間を利用するため	1.7%
3. 資格・技能を活かすため	20.5%	7. 子供に手がかからなくなったから	1.7%
4. 以前の就業経験を活かすため	1.9%	8. その他(具体的に:)	3.9%
		無回答	4.1%

問 24 あなたが介護の仕事に就いた理由を選択肢から選び、枠内に記入してください。

a) あてはまるものすべて

N=415

<選択肢>

1. 持っている資格を活かすため 56.4%	8. 社会のために役立ちたいから 31.6%
2. これまでの家事や介護の経験を生かせるから 34.9%	9. 生活を維持するため 17.6%
3. 親や家族の介護などに役立つから 53.7%	10. 家計の足しにするため 30.8%
4. 自分も将来利用するかもしれないから 38.3%	11. 就職しやすかったから 9.9%
5. 介護の知識や技能を身につけたかったから 48.7%	12. 自分の都合のよい時間に働けるから 53.7%
6. 介護や福祉の仕事に関心があったから 52.5%	13. その他 4.3%
7. 生きがいや社会参加のため 59.0%	(具体的に:)
	14. 特別な理由はない 0.2%

b) 最もあてはまるもの1つ

N=415

<選択肢>

1. 持っている資格を活かすため 10.1%	8. 社会のために役立ちたいから 5.3%
2. これまでの家事や介護の経験を生かせるから 3.9%	9. 生活を維持するため 3.4%
3. 親や家族の介護などに役立つから 11.6%	10. 家計の足しにするため 2.7%
4. 自分も将来利用するかもしれないから 3.6%	11. 就職しやすかったから 1.0%
5. 介護の知識や技能を身につけたかったから 4.3%	12. 自分の都合のよい時間に働けるから 7.0%
6. 介護や福祉の仕事に関心があったから 12.5%	13. その他 2.9%
7. 生きがいや社会参加のため 19.8%	(具体的に:)
	14. 特別な理由はない 無回答 12.0%

問 25 あなたは、現在所属（登録）している事業者を辞めるつもりがありますか。該当する番号1つに○をつけてください。 N=415

1. 近いうちにやめるつもりがある 3.6%	3. やめるつもりはまったくくない 22.4%
2. 当分やめるつもりはない 57.3%	4. わからない 14.0% 無回答 2.7%

問 26 今の事業者を辞めるかどうかは別にして、今後も介護の仕事が続けたいと思いますか。該当する番号1つに○をつけてください。 N=415

1. できるだけ続けたい 66.0%	3. 機会があれば、他の仕事に変わりたい 1.9%
2. しばらくは続けたい 28.4%	4. できるだけ早く、他の仕事に変わりたい 0.5%
	無回答 3.1%

あなた自身について

問 27 あなたご自身についておうかがいします。

a) 性別 (○は1つ) N=415

1. 男性 1.9%	2. 女性 94.7%	無回答 3.4%
------------	-------------	----------

b) 年齢 (平均) 49.57 歳 N=399

c) 最終学歴 (○は1つ) N=415

1. 中学・旧制小学・高小 2.9%	4. 短大・高専・旧制高校 22.4%
2. 高校・旧制中学・女学校 40.5%	5. 大学・大学院 17.8%
3. 専修(専門)学校 12.8%	無回答 3.6%

d) 社会福祉や介護福祉など福祉関係の大学や専門学校で勉強した経験 (通信教育を含む) の有無 (○は1つ。看護、医療、保育関係の学校は除きます) N=415

1. ある(現在、勉強中を含む) 13.7%	2. ない 81.7%	無回答 4.6%
------------------------	-------------	----------

e) 配偶者 (○は1つ) N=415

1. いる 79.3%	2. いない 17.3%	無回答 3.4%
-------------	--------------	----------

f) 世帯で最も生活費を負担している者 (○は1つ) N=415

1. あなたご自身 14.2%	2. あなた以外の方 81.9%	無回答 3.9%
-----------------	------------------	----------

g) お住まい 都・道・府・県

北海道 6.7%	神奈川県 36.6%	岡山県 4.8%
宮城県 7.0%	愛知県 4.8%	千葉県 0.2%
埼玉県 0.5%	大阪府 7.0%	左記以外の都道府県 14.9%
東京都 9.6%	兵庫県 4.6%	無回答 3.1%

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

no.	問22 介護の仕事についての能力を高める経験
11002	ホームヘルパー2級養成講座においての実技指導員をした時期が有り、実際の経験をふまえて基本的に技術者を初心者に指導するということが自分にとてもとても良い勉強になったと思う。
11005	経験時間の積み重ね。
11007	私のこれまでの仕事はほとんどが家事援助が多く、その中にオムツ交換、通院介助、洗髪、つめ切り、お話し相手が入っております。今はお二人のお宅にお伺いしておりますが、お二人とも自立された方達で家事援助の他はほとんどお話し相手です。5年ほどこの仕事をしておりますと、妙な慣れが出てきてしまいます。いつまでも初心を忘れないで接していきたいと思っております。
11009	ヘルパー1級取得時の講習やNHK学園(社会福祉コース)の受講で、介護専門職に対する意識を高めることができました。それと現場で習熟度の高い介護職の方に手を取り取り取り教えて頂いた時に技術力を高めたいと思っております。
11015	介護保険導入前、老人病院で脳こうそくで右マヒ、体交・移乗等、また病棟食について、在宅では学べない多くのことを体験できました。ここでの経験が今も大きく役立っている。
11016	ホームヘルパー2級の資格を取って、すぐ実務についでいた(3年間)が、何か物足りない感じがして、昨年ヘルパー1級の資格を取った。やっとなんか1級勉強したといえると思う。現在8人の在宅の方のヘルパーをしてるが、痴呆の方やほとんど全介助の状態の方も担当している。1級の資格を取ってから、仕事に自信がついて、ゆとりを持って対処できるようになった。
11017	老人施設での介護の様子を拝見して、医療の実態を見ることができました。高齢化社会の中で、また少子化問題で揺れる日本の本当の幸福は何だろうと考えた場合、人間の作る政府には申し訳ないが、できないのではと考えています。病氣と死が無くなるでしょうか？クリスマスチャンとして神のお考えを聖書から取り入れられない限り、この矛盾は解決できないと考えています。イエス・キリストのおっしゃった山上の垂訓をお読み下さるよう、この研究をお考えの皆様におすすめます。マタイの書、マルコの書、ルカの書、ヨハネの書の福音書をお読み下さい。そこにはイエスの文、エホバ神のお考えが記されています。本当の幸福は神が持っておられ、教えて下さいます。
11018	ヘルパー2級取得のため、基礎的知識と実務を学んだこと。最初何が何だか分からない時、どんな色々なケースを(他のヘルパーの)代替等やらされ、何となく分かってきたこと。
11027	会社で痴呆性老人の心理的特徴を学びました。事例にどの様に対応したら良いかということもやりました。その前後に痴呆の人達のグループホームをお手伝いしました。研修を受ける前と後では、目からウロコが落ちた状態でした。
11029	①私は在宅の仕事につく目的で、内科、脳外科、老人病院、保健施設等に勤務、技術とメンタルケア及び日赤救急員を10年経験致し、在宅の仕事に入ってお客様及び家族の皆様が皆様に安心して頂けて頂けたことですが、一日でも良かつたと思っていただけのことです。家族の介護、家族の介護に仕事をさせていたいです。昨年の暮れに経験したことですが、午前中に入っていたヘルパーさんの交代時に熱が高いんですと話があり、直ぐベットの寝る利用者の方を見ました。ほとんど呼吸がない状況、直ぐ救急車をよび、救急車が着くまで電話の指示で心臓マッサージをしました。もう少しヘルパーさんの能力を高めて欲しいと思います。今までの、在宅に入るまでの仕事の役に立ちました。
	②ヘルパーさんの健康が有ってこそ、心豊かに介護できると思うのですが、トイレを借りてはいけなかつたか、お茶をいただいてはいけなかつたか、ヘルパーの心構えがあります。私はお茶を持参します。トイレと泊まりは、洗面所(洗顔、ハミガキ)を使える様にしていただけ嬉しかったです。
	③事業所の上司は、もっと学び、心豊かに現状を把握して、評価をしてほしいです。カンファレンス等で、(私たちの)意欲を削ぐような話をされるのは悩みます。(家族の方も利用されている方も、良い方向に行っていることなのに)
11031	常に問題意識を持ち、レベルアップするために勉強したり、上司に質問すること。
11032	病院付き添いで、ナースより直接指導を受けたことは、大変勉強になりました。
11034	コミュニケーションの取り方。
11036	まだ仕事を始めたばかりです。訪問介護がたくて、そういう職場を選びました。自分が家族を介護した経験から、介護者に望む利用者の要望は理解できると思います。各家庭の中で老人の方々に触れて、老人の心理、心理状態に興味を引かれます。(ヘルパーは)家庭の中では一番自分というものを発揮しやすいもののように、(利用者)に寄り添い受け入れていく中で、(利用者が)いきいきと前向きな個性を見せはじめてくれるのが驚きです。

NO.	問22 介護の仕事についての能力を書いた経緯
11039	履きやすい靴下カバーを編んであげました。ゆとりがありました。その人に合う工夫をしました。作りました。体操の工夫をしました。
11043	高齢者、障害者の介護は、それを受ける利用者ひとりひとりがそれぞれ違い、それぞれ違うので、介護内容も、それぞれの利用者に合わせた対応をしなければいけないと思います。お互いの能力が高いから良い介護ができるとは思っていませんし、まずは相手を良く知ること、良いコミュニケーションが持てることだと思います。お互いの信頼関係があったこそ、持てる能力も生かせるのではないのでしょうか！身体介護以上に、精神面のケアが本当に大切だと痛感しています。
11062	多くのお客様と接することが一番のように思われます。
11063	利用者や家族との接し方、話し方(コミュニケーション)の取り方がうまくなり、相互理解が得られるようになった。
11065	家事援助の部分で、食欲を高めていただくために盛り付けの工夫をすることにより、調理をより工夫することができた。
11066	若い頃からグループでボランティア活動をしてきたことが、さまざまな家庭でさまざまな方たちと付き合い、また動けるだけの力を育んで来たと思います。資格を取るための研修で施設に行った際、そのスタッフから「研修する必要のないくらい、スタッフ同様の動きです」と言われ、スタッフになることを勧められました。また、大家族の中で生まれ育ち、祖父母に深くかかわり、その友人達と多く接してきましたこと、家事に子供の頃からかかわり、深い関心を持ち続け、家族にも専門家がいたりすることなど、生活を通して学ぶ機会が多く、さらに福祉に関する興味や子供時代からあったことが大きな意味を持つと考えられています。
11067	利用者の方との言葉のやりとりなのですが、利用者が言われたことに対して返す言葉が、相手を傷つけないようにスムーズに言えるようになったのではと感じています。
11068	いろいろな先輩ヘルパーに同行し、そのそれ以外のヘルパーの良かったサービス、技術を手本にし、独自の工夫を加えていたこと。
11069	介護福祉の勉強での実技が、いい経験になった。
11070	祖母の介護を在宅で行い、全介助が必要だったので、いろいろなサービス機関・区役所・病院とかかわり、勉強にかかわり、勉強になった。また介護サービスのメリット、デメリットなどあらゆる点から感じることができました。高齢者の病氣、感染なども実際あり(MRSA・疥癬)、大変だったこともありましたが、良い経験にはなりました。
11071	寝たきりの男性を車の中に移動する場合、研修で学んだことを思い出しながら家族の方と協力してタオルケットで体を包み込み、二人で両端を持って部屋から外へ出るまで、いかに腰を痛めずに、利用者さんの体を落とさないように、そしてものに接触しないように運ぶ経験を何回か積み重ねることによって、コツを得た。
11080	在宅介護の場合、教科書通りということはまずあり得ない。現場に入って、利用される方の精神的・身体的な部分を理解し、コミュニケーションを深め、互いの信頼関係を持つことが、仕事を高めていく上で不可欠で、個々に応じたサービスが提供されるべき。
11084	登録ヘルパーとして主に在宅の方を訪問しています。以前は機会があり、施設へも週1～2回、10ヶ月程仕事に行っていました。在宅とは違った施設のサービスを実際経験でき、大変勉強になりました。介護職としてレベルアップするためには、在宅・施設の枠を越え、いろいろな領域を知り、事例を身につけることが必要だと考えます。事業所で行われる定期研修で勉強することも能力向上につながっています。自分の担当ケースのみを知るのではなく、広くいろいろなケースを理解することが大切だと思います。
11085	前任者とのトラブルがあった後を引き継いだが、(私とは)コミュニケーションが良くとれたようで、スムーズにサービスができた。そのようなケースが3件続いたので、自信が出てきました。
11090	ヘルパーの資格を取る時に受けた講習は、主に介護に対する技術面が重視されていましたが、いざ初仕事になると、家事援助がほとんどで、家で自由に味見しながら調理していた私には、「この間と同じ煮物」といわれてもなかなか同じようにはできませんでした。本にのっているように、どこの家でも大さじ小さじが用意してあるわけではないので、カレー用スプーンやコップを使用する必要がある。今では自信を持って仕事をしています。
11094	たくさんありますが、在宅でのご利用者やそのご家族からの多面からの質問があり、答えることができないのがとても悔やまれて資格を取りながら勉強しました。まだまだ知らないことばかりですが、調べながらでも答えられるようになるように思っています。
11095	在宅で介護されている方々から学ぶことが多いです。(現場で学ぶことの方が多々あります。その方が効率的で工夫されていることが多く、毎日が勉強です。マニュアル通りではないのです。)
11116	介護職であっても医学的な知識は大いに必要だし、役に立つ。痴呆についての勉強会で、精神科の医師の話がとてわかややく役立つ役立った。カウンセリングについての勉強会も役立った。日常的な技術については、事業所内での研修も役立った。
11119	実務の段階にうまくあわせて介護責任者がステップアップを図って下さり、とどまることなく進めていっている。新しい経験を重ねていっている。

no.	問22 介護の仕事についての能力を高めたい経験
11131	介護の学校で学んだことは、実際に在宅で仕事をすると経験不足のため、始めはなかなか思うような介護ができませんでした。特に在宅の場合は、利用者さんによって介護の仕方がまちまちで、その方(利用者)に合わせて介助を見つけて出す所から入らなければなりません。そんな中で、色々な多くの利用者さんと接して介護の回数を重ねることで、自然と能力も高められたのだと思います。また思うような介護ができないときや疑問に思ったことなどは、必ず早めに上司に相談するよう心懸けることも、能力を高めるために大切なことだと思います。
11132	施設にボランティアに行ったこと。施設での職員の働きを見たこと、重度の利用者に接し、改めて仕事の重要性を認識した。介護技術に自信が無かったの
11134	で、今は施設でもアルバイトをしている。というのも、経験年数は積んでいても、自己流なので自信が持てなかつたから。
11140	利用者への気配り、思いやりを持って接したこと。利用者との挨拶、言葉遣いをハキハキしたこと。利用者との信頼関係はすべて会話次第だと思います。稼働時間を利用者ヘルパーがいつも楽しく過ごしています。
11141	実務経験(在宅介護)の豊富な上司、同僚との交流や同行研修はためになりました。
11144	ボランティアで施設の経験をさせてもらった。
11146	初めは家事援助中心。徐々に複合、身体(通院介助)に移ってきて、今は寝たきりの方についていますが、それまで一度も身体に関わる事がなかったため、頭ではわかかってても経験がないから、自信がないという状態です。やり方がわからないわけじゃない。実務の中でベテランから指導(補助をさせて頂いているので)を受ける機会もあります。でも、見るのとやるのとで大違いで、とても見ながら手際も悪く…。乗り越えなくてはいけないなあと(思っている)。家事援助は効率よくできるのだけ。
11147	昨年介護福祉士の試験勉強をしたことで、正確な技術、情報を得ることができ、私自身の能力を高めるとともに、自信をも得ることができたと思います。
11149	担当している利用者さんが骨折された時、リハビリ中にナースや医師の方々よりアドバイスを受け、役に立った。調理や掃除など家事の部分では、利用者さんから教えていただくことも多く、それが他の利用者さんのおところでも活用できる場合がある。研修時にベテランから話を聞いて、その場でやってみると、移乗の介助がスムーズにできた。
11152	一老女の死の前日まで介護をしていて、その安らかな眠るような死を見て、寝たきりの苦しみから脱出できた老女が「ありがとう!」と言ってくれているような、そんな満足感が、私のやる気を支えているように思う! 能力が高まったかどうかは分かりません!! ほとんど意識がなく寝たきりの方で、体がかなりむくんでいて、自分より体重も重く、そういう方の場合、はじめに上司の方が一緒につきそって、ベットに自分の体を半分のみあげて体の向きをかえるやり方など、なるべく腰に負担がかからないように、利用者の方に負担になりにくいように、きちんと指導してもらえたことが嬉しかったです(仕事をはじめたときのことです)。養成講座では教えてもらえないような現場の状況があり、工夫して対応していかなければ行けないと勉強になりました。
11154	お客様への接し方。(話の聞き方、答え方)
11155	通常個人での仕事なので、疑問が出た際は事務所へ電話して上司に相談しています。忙しくて放っておくと何も変化はありませんが、仕事の先輩からの助言を受けた後、サービス内容がかなり向上している場合が多いです。
11161	事業者で定期的に行われている研修は、いろいろな面で勉強になりました。
11164	資格を取得したいといえども、全くの未経験でも同行のみで始め、それからは一人でポンと現場に置かれたのが初心の頃でした。一つ一つ、先輩・上司に相談しながらでしたが、幸運なことに良い方達に恵まれてくどくどくらい聞きまわりました。今では身体介護が大好きです。また、終始緊張感100%でありたいと心懸けています。毎回違った事柄が目前に出てくる訳ですから。
11168	現在は訪問介護をしているが、以前施設に勤めていて、そこで経験したこととはとても役立っていると思う。やはりいろんな方と接し、経験をつむことが能力を高めていくのだと思う。もちろん知識も必要であるから、日々勉強しなくてはならないと思う。
11169	介護教室のアシスタントを何度なく経験した。介護経験のあるなると関わらず、受講者の実技介護に対する思いなど、情報収集できたこと。在宅介護の仕事を経験し、老人センター、デイケア etcの施設で実習できたこと。
11170	特養で働いていた時の、先輩・後輩を含んだ同僚の働きぶりに学ぶことが多かった。今はヘルパーをしていて、在宅介護に1人で行くので、自分よりもっとできる人からの刺激を受けることができなく、ただ自分がベストを尽くすだけです。

No.	問22 介護の仕事についての能力を高めた経緯
11181	2ヶ月に一度、会社で研修があり、できるだけ参加して知識を得ること。企業主催のケアやあらゆることへの講習会にできるだけ参加し(自費)、他の勉強熱心な方に刺激を受け、知識の向上と高度な技術を学ぶ機会を得ること。
11185	経験豊かな人の講習会に参加する(その場合積極的に体験する様にした)。
11198	利用者は一人一人の対応が違うので、100人介護すれば、100通りの介護の仕方を教わることになる。
11201	アルハイマーの女性の方の介護を始めた時のことです。オムツ交換をいやがる方で、大変でした。便が流れ出した状態で歩き回っていました。その時はただ必死で処置しましたが、終わると泣かれました。それを見て、痴呆の方とはいえ、イヤなことは感じられているんだと初めてわかり、「大変でしたね、イヤでしたね」と二人で抱き合っていました。その日から徐々に、オムツ交換がスムーズにできるようになり、技術も大切ですが、心が通じることも大きな事だと感じました。このことを同じグループの方と共有し、介護に役立てることができました。
11202	スキルアップのため勉強して、介護福祉士の試験を受けて資格を取った。
11203	清拭、更衣など体に触れることにも抵抗のある利用者で、時には手や足も出ることがあった。ある日、私の顔に平手打ちがはいった時、利用者ははっとして申し訳なさそうに顔を赤らせた。それを見た時から、私は無理することなくその日の気分に合わせて(オムツ交換)を理解してサービスを行ったところ、今では抵抗もなく笑顔を見せてくれるようになった。抵抗には理由があり、それを理解できたときに初めて信頼関係が築けるのだと思つた。
11207	人それぞれという言葉がありますが、一人一人の個性に合った見合う介護があると思つたので、経験を積むことが大切だと思つた。そして相手を思いやる気持ちをもちたいことが第一条件ではないでしょうか。私はそう思います。
11213	沢山の事例にかかわることが一番。
11214	利用者さんとの会話の難しさ。なるべく聞き手になり、利用者さんを楽しく話してもらい、1人分の食事を作ると、どうしても多くできてしまつたので、なるべく少なく作る努力をしている。
11217	利用者が精神障害もあり(うつ病、骨折、盲人)、研修になかったことを勉強できた。
11218	この仕事についてまだ日が浅いために、その日のサービスを精一杯やることのみですが、ご利用者様は自分ではないことを実感しています。
11222	研修、講習会に広く参加する。同じ仕事をする仲間との情報交換。
11226	難聴の利用者とのかわりを持ちましたが、どこまで理解をしてもえらえるのか判断ができず、確認の方法を慎重にしないでと強く感じています。傍から見ると正常に見えるために、誤解を生みます。利用者自身も相手や仲間から相手にされない場合が生じ、疎外感をかみしめているようです。補聴器の使用もままならず、なかなかなじまない様子。利用者の苦痛を少しでも理解ができるようになつたと思います。
11227	短い期間でしたが、施設勤務は多種多様な病気、障害、人格、経歴を持つた方々と接することができ、十人十色の介護の方法や接し方があることがわかり、とても勉強になりました。ただ、忙しすぎて流れ作業的になつたのも事実でした。在宅介護で、短時間の中にも、利用者さんの状態やニーズを充分把握しなごらお宅へ伺つても初めてのことで、経験と言つても人それぞれ違い、とても良かつた方、とても良かったです。
11239	ごらお宅へ伺つても初めてのことで、経験と言つても人それぞれ違い、とても良かつた方、とても良かったです。
11241	皆さんの方に少しでも快適に過ごして頂けたらと思つただけです。能力を高めるといふにはちよつとほど遠いか？
11244	能力、知識、経験のある上司・先輩に指導してもらつたことは、能力を高めていくことにつなげていくと思つています。それだけ、困難で大変な場面を経験し、乗り越えていくことも大きなポイントかと感じます。
11246	家事援助が主で介護の能力を高めることはできていないと思つち。まるでお手伝いさんのよう。少し悲しく思っています。
11251	在宅介護をしています。1件のお宅に4～5人のホームヘルパー、2～3人の看護師が出入りされ、それぞれから互いに学び合い、技術を研ぎ合うなどチームワークの大切さを学びました。
11251	実母の介護の経験が役に立った。
11252	身体介護の研修。忘れかけていた介護方法を思い出させてくれた。新たにがんばらなくてはいと思つた。
11254	毎日が勉強の日々です。

No.	問22 介護の仕事についての能力を高めた経験
11257	在宅ヘルパーですが、週一回デイサービスセンターへ調理ボランティア(デイサービスのおやつ作り)に行っています。デイサービス利用者の方と接する機会があり、また職員さんの日頃の仕事を、利用者との係わり方を見させていただけたいと思っています。他にも施設へいろいろボランティアへ行っていて、勉強することばかりあります。ボランティアは続けたい。(年令が高いので体力的にいつまでできるかしら。現在58才なので)特になし。
11259	まだ(始めて)2ヶ月半程なので、能力を高める所まで行っておりませんが、一回一回を一生懸命介護させていただきながら、最近受けた「傾聴スキル講座」で学習した積極的傾聴能力を高め、心と心の通い介護をしたいと思っています。
11262	ご利用者様への傾聴により、体験を思い出していただき、御元気になられたこと。今日お話されたことについて、関連したことを調べて次回お話する。新聞を読んで差し上げて、お話を上げる。
11272	初めての利用者について不安があり、自分の技術に不満でしたが、同じような状態の利用者宅の見学をさせていただいて、自信が持てました。
11274	重度の脳梗塞の男性に付いた時、身長がとも高く家の中を歩くのも、トイレの便座へ後ろ向きになるものもなかなか大変でしたが、ご家族が大変熱心でしたので、コツが少しずつわかかってきて、声かけの方も大きな声ではつきりと言うようにするだけで、ご本人も少しずつ歩かれるようになり、大変自信につながりました。病気の方はあまり長くないようですが、笑顔が多くなり、安心して下さるようになってきました。
11281	2級ヘルパーの資格を取得した後、老人ホーム等の施設で働いてより技術を身につけようとしたのですが、年令制限にかかって勤めることができず、仕方なく登録ヘルパーに応募して在宅ヘルパーとしての職につくことができました。何しろ資格を取るための講座は実習のみだったので、登録先で研修等は受けましたが、初めての時は、内容はわかかっていてもどのように手を付けたら良いか、戸惑いました。しかし、サービス責任者の適切な助言があり、その通りにしましたところ、思ったより楽に仕事ができるようになりました。別の利用者のお宅では、とても気難しい方で、とても対処できないと思いましたが、私なりにお話ししたところ、工夫をして気持ちほぐす事ができました。でもまた何日どのように気分が変わるかも知れません。その時はその時で、様子を見ながら対処していく方法を考えればよいと思うようにしています。困難があるほど、勉強するようになりました。
11282	パートでデイサービスに務めているため、数多くの老人と接している。色々な例がある。
11283	病院のように規則はなく、規則は各利用者様の習慣やペース、個人を尊重することだと思っています。
11284	まだまだ経験不足なので、これからいろんな方と出会い、介護方法を勉強していきたいと思っています。
11285	ホームヘルパーの仕事を始め半年になります。介護の仕事は初めてで、いきなり痴呆のある方(失語症があり右半身軽いマヒ)を担当しました。家族の居なくなる時間帯にヘルパーが入りますので、その方とは1対1になります。初めは不安で、私にできるかどうか心配でしたが、ベテランのスタッフが私の納得がいくまで同行してくれ、無事に引き継ぐことができました。また私の行っている時間帯に訪問リハビリもあり、リハビリの様子を見たり先生の専門的な話も伺うことができ、日々勉強になります。
11286	実務の中でベテランから指導を受ける時に、利用者の方々の個別の家の状況、身体の状態等に百人百色の介護があり、あらゆるケースを体験することが勉強になりました。
11287	現在在宅介護に携わっているが、以前は施設で介護を経験した。これが何よりの勉強になった。(多くの利用者に接し、数多くのケースに遭遇できた)
11293	利用者さんと接する中で一番感じられることは、感謝され喜んでいること。ご家族の方々にも喜んでいただき、また頑張っていることと励みになります。能力を高めたとはいえないかも知れませんが、この介護の仕事をする前と今とでは、自分自身が人に対しての思う気持ちは大きく違ってきています。自然に当たり前にやさしく包み込める自分になりました。利用者の皆さんに感謝です。
11294	利用者の方々とコミュニケーションが以前よりスムーズにできるようになりました。
11300	介護の能力を高めることは、同じ介護利用者に長い期間かかわってその人を理解することだと思います。
11301	利用者が1時間～2時間トイレから動けず、朝、私が訪問してからトイレからベッドまで連れて行き、寝ていただき、水分補給や体をふいたりして、ご家族のことを待ちました。
11303	ホームヘルパー2級の資格を取得する際、ベネッセの講習に参加して多くの指導者の講話を聴いたり、実務指導を受けたことが今も心に強く残っている。

No	問22 介護の仕事についての能力を高めた経験
11304	30年前から高齢者の介護ボランティア、障害者ボランティア、15年前から心のケアの勉強をしたり(講座を受講)していたので、ヘルパー2級を受けて仕事に就いた時は、何でも経験、習っていて良かったと思います。
11305	研修ももちろん大切ですが、能力を高めるには実務だと思っています。(私の経験ですが、ヘルパーを始めればかりの頃に、末期ガンの方のお世話をさせていたいただきました。不慣れた私に対して不満をおっしゃらず、感謝していただき、次にはもつと上手にさせて頂くことができました。この経験は私に大きな影響を与えました。最初は、そんなに変わらないのではないかと、すべてにおいてそう思っていました。でも何か物足りなさを感じていました。原点に戻る自分を見つめ直すこと、仕事において違っていた分野を見つめ発見することで、感じる、考える、考える、この今自分のために勉強して良かったと言えます。
11306	私は去年H13.11月～H14.8月まで、民間のヘルパー1級講座を受講しました。原点に戻る自分を見つめ直すこと、仕事において違っていた分野を見つめ発見することで、感じる、考える、考える、この今自分のために勉強して良かったと言えます。
11308	家事援助から身体介護の仕事で色々なケースを経験する事ができて、一定の時間内で満足していただけだったのが、過去6年間の色々な経験が積み重ねて来られたことと思っています。
11312	単独で利用者宅に通うので気が付かなかったことが、先輩の対応の仕方を見て(気づいて)改めたことがあった。
11313	私自身が介護を必要とするようになったときの心がけや態度について、具体的に学ぶことができた。
11316	利用者の方とその家族の方の好みにあった食事作りができ、とても喜んでいただけたこと
11317	実母が2年6ヶ月前に骨折して寝たきりになったため、家で介護。そのために介護の知識を技術を学びました。
11318	能力を高めたというほどのものではありませんが、福祉検(福祉住環境コーディネーター検定)の勉強を始めて、介護保険の全体像が見えてきました。つまり直接今の(ヘルパー)仕事と深く関係がない、少し離れた所から今の(ヘルパー)仕事を知る必要があるということがあり、これからも幅広く勉強し続けたいと思います。
11322	新しい利用者を経験するたびに、サービスの仕方、内容、コミュニケーションのとりかたなど自分なりに考え、いろいろ工夫します。それが能力アップにつながると思っています。在宅の場合には、1人の方に長く付く場合が多いのですが、できるだけ多くの経験を必要があると思います。短期間に介護度が増すケースを持ちました。ADLの低下と介護方法の変化が追いつけなかった。今のサービスだけでなく、2～3先の「どうなるか?」といういろいろなシミュレーションし、その時の対応の仕方を頭に入れないから、全体を見れる余裕のサービスが心がけようと思います。
	コミュニケーションの取りにくい方(痴呆、聴覚、言語障害者)のサービスで、自分の方が構えてしまっ失敗することがあります。何度かサービスしている間に、相手と向き合い、急がず、ゆっくりすることで自分の心が軽くなると共に、利用者との垣根がなくなりました。
11323	複数のお客様に接すること、ケースバイケースでさまざまな状態、状況を体験できるので。
11325	同居していた父の介護を母としたこと。父の死後、母の肉体的・精神的老化を身近で見ていること。叔父・叔母の入院の際の相談に乗ったこと。仕事での失敗から学んだこと。実務中に同僚からの指導を頼んだこと。研修会や講習会で勉強したこと。
11331	毎月の実技を含めた定期研修会への参加。
11341	私のサービス開始は2002年3月からスタートいたしましたので、能力を高めた経験という思いは全くございません。ヘルパーとして基本的な講習は受けましたが、実際サービスに入ると、お一人お一人全て介護の方法は違うのだからというのを学んでおります。技術的にはまだまだ利用者の方に迷惑をおかけしておりますが、今後やってくる経験や失敗をプラスに生かしていきたいと思っております。
11344	病院に付き添って行って、急に痴呆の症状がひどくなって失禁された時、話しかけながら衣類を着替えた。また車椅子からタクシーへの移乗をした。
11351	とにかく現場のケースを通して、自己学習しながら自然に身につけているように感じます。あと同じケースの担当のスタッフに、どのようにかわっているのかを直接聞いたり、サービス提供責任者にも相談・指導(アドバイス)を受けて、少しずつですが「経験」となっていると思います。
11352	在宅において「自分でできることは自分です」「最低限しか人に頼らない」「自尊心」「今までの生活を続けたい」と一生懸命生きておられる姿勢に心打たれることがある。能力を高める経験ということはないが、心を込めて答え、よりよい生活を送って頂きたいと思う。
11363	利用者一人一人のケースが違うので、数多くの経験があるのみです。
11366	在宅では1体1の場合が多く、狎れが早期発見につながる場合と見落とす結果を招く場合とがあることをいつも心がけ、自分の判断を過信しないよう、1件1件の状態・状況を上司に報告するよう努めております。

no.	問22 介護の仕事についての能力を高めた経験
11369	施設での介護経験・ヘルパー研修会にて、してはいけないこと等の上手な断り方を、実際にあった例を挙げて寸劇にし、自分達で演じてみて疑似体験したことで、自分はどう思うか等書いてみて、それに対してどう思うか等書き出して自分なりに答えを出し、それに対して先生からのアドバイスを受けた時。
11370	たくさんいる講習会も大事なのですが、所属している事業所にいるケアマネジャー、先輩ヘルパーの経験ある話が大変勉強になります。
11373	入浴介助に初めて入る際、先輩ヘルパーが同行し指導してくれたおかげで、入浴介助に自信が持てるようになった。
11376	現在通信教育で介護福祉士の勉強をしています。
11377	チームミーティングをするたび気が引き締まります。そのミーティングの内容がヘルパーそれぞれの利用者への思いやりが聞けるのもあります。
11378	事業所内での定期研修、県主催の現任研修、ホームヘルパー1級を自己負担で受講、通院介助時理学療法士、また訪看(訪問看護)の看護師、テレビの介護番組等で知識・技術を学んできました。また、現場で困難にぶつかった時の工夫が経験となり、少しずつ能力が高まってきたと思う。実に奥の深い仕事です。
11379	ホームヘルパーを続けて、昨年通信教育で介護(介護福祉士)の資格を取った。しかし、事業所ではあまり評価してくれないので、今までのような家事援助などの仕事を続けるように言われ、ケアマネなども勉強したいといっても、「いやないのではないかい」と言われる。勉強したいと思う人に、もっとそれなりのアドバイスをして意識や知識を高めるべきだと思う。
11388	「要介護度5」の利用者の方で、食事は胃ろうで排尿も尿管を入れ、硬直が激しく、会話でのコミュニケーションは無理なのですが、うなずきなどの応答はたまにある方の介護に入らせていただいた時はいろいろと勉強させられました。(硬直が激しい方の衣類の着脱、排便の際のオムツ交換、口腔ケアのやり方など)
11389	在宅と施設の両方で登録ヘルパーとして働いており、それぞれの良い所を参考にしながら介護サービスに生かせることができた(在宅ではきめ細やかな対応ができるが、接する人が少ないので単調になりやすい)。また、会社の方でも相談事があればいつでも対応してくれ、研修も回数が少ないのが不満ですが、きちんとしてあるので勉強になった。
11390	先輩ヘルパーさんのたくさん体験を聞かせて頂いて学びました。テレビの介護教室を多く見て学びました。(教育TV)
11392	以前特別養護老人ホームで5年働き、介護経験、技術は身に付いた。しかし施設では流れ作業的な所があり、利用者どじっくり話す時間はなかった。現在ホームヘルパーとして在宅で利用者と接することによって、利用者の心の問題・生活・家族の問題が身に付いてきたように思う。まだまだですが、...
11396	在宅で1日でも長く自分らしく生活していきたいという利用者のこだわりや希望をお聞きしながら、一緒にその一瞬を生きていけるホームヘルパーの仕事に誇りを持っています。大勢の利用者や家族とのかわりの中からは、麻痺などの身体状況の違う利用者からは、技術面の大切さを学びました。両者(人間性+技術)を磨くこと、押し付けでない介護の仕事をしていきたいと思えます。また、最近福祉職である私たちは、医療面の勉強を基礎からやっつけていかなくてはならない、そういう能力に欠けている部分を多々感じています。生活という部分に入り込みすぎず自分を知っておかなければと思います。また実務経験に応じて(ヘルパー2級)→(介護福祉)→(ケアマネジャー)と徐々に資格にチャレンジし、(資格を)取得していったことが、結果的に仕事の能力も高めていっているようにも思います。今は一人一人のヘルパーの個性と利用者の個性によるマッチングの良否について学んでいます。
11406	介護福祉士の国家試験の実技試験前、空いているベッドを自由に使用せられました。試験日が近くなると上司から直接指導を受け、実技にもかなり自信が持てるようになりました。その後、介護ベッドをご利用の方のお宅でのサービスは(その時の)練習での経験がとも役に立ちました。
11407	ヘルパーとして働き始めて間もない頃、障害者(手足不自由)の方の食事、排泄、歩等の介助にあたり、しなければならぬと気がかりありあり、なかなか利用者とのタイムインズが取れませんでした。私はプロなんだからあわてることはない」と自分なりに言い聞かせていたら、ふいと力が抜け、波長が合うようになり、仕事もスムーズに行えるようになりました。このことが自信となり、間の取り方、少々困難なことにもトライできるようになりました。
11409	入浴介助、体位などの研修。
11412	介護福祉士の受験勉強。他の人のやり方を見せてもらった。
11416	私の母は7年前ガンで亡くなりました。その時病院で付き添いました。何も学ばず、初めての介護でした。ただ気持ちだけは一生懸命で、どうしたら気持ちよく過ごしてもらええるかを考え、頑張りました。その経験が今の仕事にとっても役立っていると思います。
11422	ベテランヘルパーに同行して頂いた時に、利用者に対しての気配りができていてすごいと思います。食事も残されがちなんですが、うまく話をしながら、食べるほうにもっていかれるのがすごいと思います。

No.	問22 介護の仕事についての能力を高めた経験
11427	わがままな利用者を体験することにより、利用者にとって気持ちよいサービスを知ることができた。人間性を利用者に認めて頂くことにより、自分自身に自信を持つことができた。介護保険になっても真の介護サービスができていくようになった。利用者の心をおし計ることが非常に難しく、言葉と心は必ずしも同じではないことがよく分かった。
11429	私は平日は介護とは異業種の仕事をしており、週に1日だけホームヘルパーの仕事をしています。今まで介護の経験もなく、最初は「私にできるだろうか」と不安でしたが、事業所の人が「できるようになるまで何度も同行するから安心して」と言って下さり、初回の同行訪問で丁寧に指導してもらい、「私にもできそうだ」と安心したのと同時に、実際に利用者の方と接し、いろいろ教えていただいたり、相談するうちに度胸も付いてきました。
11432	実働あるのみ。
11433	訪問当初、小さな失敗の繰り返しの中で、同じ失敗を繰り返さないように気を付けながら、経験として身に付いていったと思う。
11435	ヘルパー2級の習得が7月でしたので、経験が浅いのでまだ何も分かりません。今から体験・経験で介護に自信がつくでしょう。
11437	はじめて寝たきりの方の介護にあたった時、そこのお嫁さんがオムツ交換や手浴、足浴のやり方などを教えてくださったのでとても助かりました。
11438	永年保育所に勤めていた関係で、子供達の心理、気持ちの受け入れ方、接し方などを経験したことが、お年よりに対しても同じ気持ちで接することで、今まで信頼関係をもって仕事ができるようになります。子どもとお年よりに共通するのは沢山あります。自尊心を傷つけないように、気持ちを相手の立場に立って考えて受け入れ接することが大切かと思えます。
11439	現在は在宅のヘルパーをしています。以前は施設でパートをしていたのですが、以前は施設でパートをしていたのですが、日々の良き・悪きがあり、自分のことでの介護の仕事に幅が広がってきたと思います。また、自分の親が介護を受けていることも経験していますので、受ける側の気持ちも理解する事ができました。
11443	ヘルパーの仕事を始めようと思ったのですが、会社との対応、受ける側の気持ちも理解していただくと思います。最初は気持ちが入りすぎても疲れましたが、今は気持ちを切り替え、与えられた時間にできただけのこもったサービスのつもりです。色々な方にお会いでき、とても勉強になります。健康管理(自分自身)には特に気を付けています。
11446	まだ経験が浅い私ですが、比較的軽い痴呆の方やアルツハイマーの方などの介護がほとんどで、機能的には通常の事はほとんどできる方が多いのですが、声をかけられないと不安な、あるいはヘルパーがなぜ来るのか解らない！自分には必要ない！という方に受け入れていただくことは大変難しく思っています。何かのきっかけで信頼を得ることがあるとすれば、今までの経験で言えば、たぶん心のふれ合いと体のふれ合いかと思っています。同じことを何度も話されませぬが、熱心に聞く！その間少し位は掃除したり、洗髪、痛いところをさす！そうすると、今まではさして下さったり、だんだん受け入れて下さるようになりまし。無理強いをしていないのでしたらおかげさまでおかげさまで。自分から散歩に誘って下さったり、自分から散歩に誘って下さたり、だんだん受け入れて下さるようになりまし。無理強いをしていないのでしたらおかげさまでおかげさまで。自分が自分のプライベートなことの手伝いをしてもいいと思います。他人が自分のプライベートなことの手伝いをしてもいいと思います。他人が自分のプライベートなことの手伝いをしてもいいと思います。他人が自分のプライベートなことの手伝いをしてもいいと思います。
11452	ヘルパーの仕事を始めました。3ヶ月です。身体介護は実習でやりましたが少しづつ慣れてきました。清拭や着替えなどを習うことでも勉強になりました。
11456	介護に関わった最初から、重度の方々を担当。指導者がいない状態の中で、自分自身で勉強、対応は出来てはいません。個人的に医師、理学療養士、作業療養士等々に相談・指導を受け、皆さんの施設を見学しました。病院見学の中で、利用者個々にケアやケアを選んでいく対応。身体介護以外の面(家族との関係・家事援助)でも役に立っていることかと思っています。現在も新聞等で情報や勉強会・勉強会・見学等も続けています。
11457	講習会や先輩の話や先輩の利用者やその家族の話に耳を傾けるなどです。
11459	経験を積み重ね、そして各利用者に応じた介護(望まれる)を考えて、提供していくことかと思う。
11461	常に介護、福祉情報へのアンテナを立てておく、得た知識を利用者に提供し、自身が体験する。
11469	実務の中では、ベテランの方から対応を聞くことが非常に役立っていると思う。

no.	問22 介護の仕事についての能力を高めた経緯
11471	介護に携わった時が父を亡くしてからです。もっと早くからこの仕事についていればいいかなんか分かったらいいなと思います。今後私も介護して頂く時が必ず来ますので、静かに待てる1人にかわいらしいお年よりに、いつも人にささえられている喜び、それを素直に態度に表せるようになっておきたいと考えています。お1人1人のお宅を訪問させて頂くとき、介護の広さ、深さをしみじみ感じます。私の年令になりますと、環境、その人の生き方、家族とは何かをすごく考えさせられます。家族社会に感謝しつつ、多くの方にささえられていくこの仕事をしたい。私に幸福の日々を感謝しております。病院の中で仕事をしていた時のことが、家庭訪問させて頂くとき病院内でのすべてのことが役立っています。(嘘じゃないです)
11474	パーキンソン、リュウマチ、多発性脳梗塞の職下障害を伴う方等、直接身体に触れる在宅介護に当たった時、一人一人の症状に適した介護は？と考えたり工夫したり試験錯誤しながら過していった時、仕事の充実感を味わったと思っています。
11479	自分の経験もさることながら、他の体験報告であったり事例研究も身近に能力upに役に立つようです。
11482	スタッフ同士のミーティングにより、情報交換・内容の統一を図った。
11483	実際に実行していることを指導してもらおうの一番効果的だと思います。それに理論が裏付けられると、知識として身につけて頂くことができます。
11486	事業者が時々開く研修会に参加して、他のケースの問題を聞く機会を持つことは参考になる。
11486	仕事を始めて半年ですが、家事援助ばかりのお宅に入っていて、しかも買い物または掃除のみを行っています。元気な方々ばかりなので(偶然だと思いが)料理を作ったことありません。この状態で次に身体介護を必要とされる方に出会ったら、少し自信がありません。研修は仕事の日と重なることが多く、行けません。自分に必要な研修はなかなか受けられないように思います。
11489	時間内に家事、介護がこなせるようになるように頑張った。
31003	利用者の心理や気持ちなどがある程度理解して、なごませたりすることができるようになった。
31012	たくさんの方達に、ちよつとひとりひとりの出合いによって、様々なことを学ぶことができたことが現在の仕事に役立っています。
31012	利用者の方達に、ちよつとしたことでも教えられる。話し相手になれている時にも、その話しの中でのなるほどと思うことができた。痴呆の人でも自分のことをよくわかっていると思う。
31015	ヘルパー1級の講習に通っている時、実務をやりながら6ヶ月(の講習を受講すること)は大変きつかったが、習った事を実務に反映させることができるのではないかと思う。また、他の事業所のヘルパーとの情報交換等が今後も役立つと思う。
31017	痴呆のある方の介護で学んでいること、コミュニケーションをとる時でも常に利用者の方の自尊心を気づかいながら仕事をしています。ちよつとした言葉遣いでも険しい顔になったり、頭を壁にぶつけたり、手をパンパンと叩いたり、威嚇します。また穏やかになったり、声かけ一つで介護がスムーズに進みます。大変勉強になります。
31018	肝ガン及び脳梗塞の方のタミーナルケア(お二人)全介助。
31031	①介護度5の寝たきりの方に逢い、他ヘルパーが「大変だ、大変だ」というのを聞き、どんなに大変なのかを知りたく思い、介護させて頂き、家族の方にも信頼されていくのまにか責任者として仕事をしていた。
	②初めてヘルパーとなり、初めて受け持った方が、片足義足の方で、その方の入浴介助をやらせて頂いたこと、1年6月介護させて頂き、その後ホームへ入られました。今でも私との入浴が一番楽しかったと言われています。
31037	上記2例とも本当にいろいろな勉強させて頂き、感謝しています。ちなみに①の方は今も介護させて頂いて居ります。
	高齢者とのコミュニケーション、場数を踏まないとし身に付かない。

no	問22 介護の仕事についての能力を高めた経験
31073	<p>警友病院の特室の病人の付添をした時、看護婦と一緒にベットの左右から清拭を毎回手伝って、正しい正拭を覚えた。</p> <p>脳血管疾患の後遺症の寝たきりの入浴のやり方を、車椅子から入浴用の椅子に移動、風呂のふちにすわらせ湯の中への方れかた引き上げかたなど、先輩のところに見習いに行って教えていたとき、その後4ヶ月私も教えた方法で、患者の入浴をした。</p> <p>韓国の人のパーキンソン病患者のところに伺った時、家族の方にパーキンソン病は普通には扱けないが、患者の前方に私の足を交互に出してやると、またぎながらトイレ迄でも歩けることを教えていただいた。</p> <p>私が臨時で伺った患者が、他のヘルパーの悪口を言った。(その内容は)挨拶と言葉使いだっただけで、私の患者のところへ伺うときは、朝と帰り正座して丁寧に挨拶して、少し楽しい話をして帰ることにしている(心のケア)と思っている。</p> <p>デイサービス施設での介護の経験が、在宅での介護にも役立っている。色々なタイプの人達に接することができた。</p>
31077	ヘルパー2級の講習を受け、日本の福祉制度・介護保険の流れなどがよく理解でき、介護保険と共にヘルパーの仕事が日本社会にとって大変必要な仕事だということを知った。しかし、今はまだヘルパーの仕事が社会の中で余り評価されていないような気がする。社会の中で評価されていくように、福祉の分野で働く私達はできるだけ研修会や講習会に参加して、レベルアップしていきたいと思っている。
31082	ヘルパー2級講習時の実習で習ったことが、特養老人ホームの実習時にかなり役立って、入浴介助の時等スムーズにできて嬉しかった。食事介助・更衣介助・排泄介助・清拭・ベットメイクなど、勉強して能力を高めたと思う。ポータブルトイレの介助は、今後、勉強の中にとり入れてもらいたいと思う。
	実技の技術向上とともに、利用者さんへの声のかけ方などのコミュニケーションのとり方も、難しいのでそういう勉強もしていきたいと思う。(私も)講習会などで勉強したいと思っている。
31086	ヘルパーの前に、病院で付添い家政婦として24時間泊まり込みの仕事をしていますので、其の時の経験が主に役立っています。
31091	高齢者の家へ泊り込みで色々経験したことは、普段は家族がいなくて淋しいのですが、家の方が来られると、何事にも私達に押しつける手で、自分は知らないと言われるので、1人暮らしの住宅は難しいと思っている。今の自分も、高齢になつたらあのようなふうになりたくないと思つて、沢山教えられたい。
31096	病院勤務時代はバックにドクター・ナースがいるので、いざと言う時に心強く、安心していました。今、自立神経の患者さんですが、自分のことはすべて自分でできるのでそれをさりげなく見守っています。食事も風呂も、自分でやっています。時々、私の後ろにボーツと立って一点をみつめている姿が見られます。そんな時はビックリしますが、どうしたんですか？と聞いて、何かしてほしいと言っています。娘さんのことや患者さんのお仕事のことや、ウンウンと聞いているだけで答えは返って来ませんが、すこし落ち着くようです。◎ちなみに患者さんは、奥さんと離婚して、娘さん2人とネコ2匹の生活、小さな会社のオーナーをやっています。
31099	痴呆症の方を見ますが、毎日毎日が戦いのような日々を送っています。
31100	ホームヘルパー2級の講習会や経験豊かな同僚とのふれ合いによる。
31108	ごくろさまでです。父が障害者となったことが何といても一番の経験です。63才で片まひ・言語障害となり、15年生きています。介護保険ができるまで、母がほとんどみでいました。今さらながら母に頭が下がります。こんなに高齢社会になり、日本はどうするのでしょうか。また、介護保険に入れない人々はどうかになるのでしょうか？
31112	高齢者、障害者との家族との接し方、コミュニケーションの取り方で多少時間はかかったが、すべてよりスムーズにクリアしたこと、ワンクッションをおくことと、笑顔に接することにより、自分の持ち合せた能力をフル回転できたことでした。※ケアマネージャーとの連絡が密にできないことがある。もつとしかかりと在宅での介護のあり方を良く考えていくこと。
31118	相手の気持を良く考えていくこと。
31124	介護の時には、利用者が今何をしたいかを探知して、心のケア・声かけをすることによって、意思疎通を図れた。
31135	父が倒れ、病院で介護する機会があり、実際に移乗や排泄・食事介助などの経験を遠慮なくできました。やはり他人だと加減がわからず、身内だと介護してもらう方も遠慮なく不満が言え、気をつける点などがわかり、勉強になりました。
31139	高齢者は、お一人一人が性格も環境も違います。その方その方の性格を把握しながら、気持ちに沿って介護することが、自分の経験につながったと思います。
31162	いろいろ研修やベテランからの指導はもちろん役に立ったが、利用される方との人間関係が、介護の基本的なことへの勉強になったと思う。つまり、技術も必要だが相手を尊重していい関係をつくること、介護の基本であると思うので。